

平成24年度 中部地方ダム等管理フォローアップ委員会 【平成24年の主な出来事】

平成24年12月11日

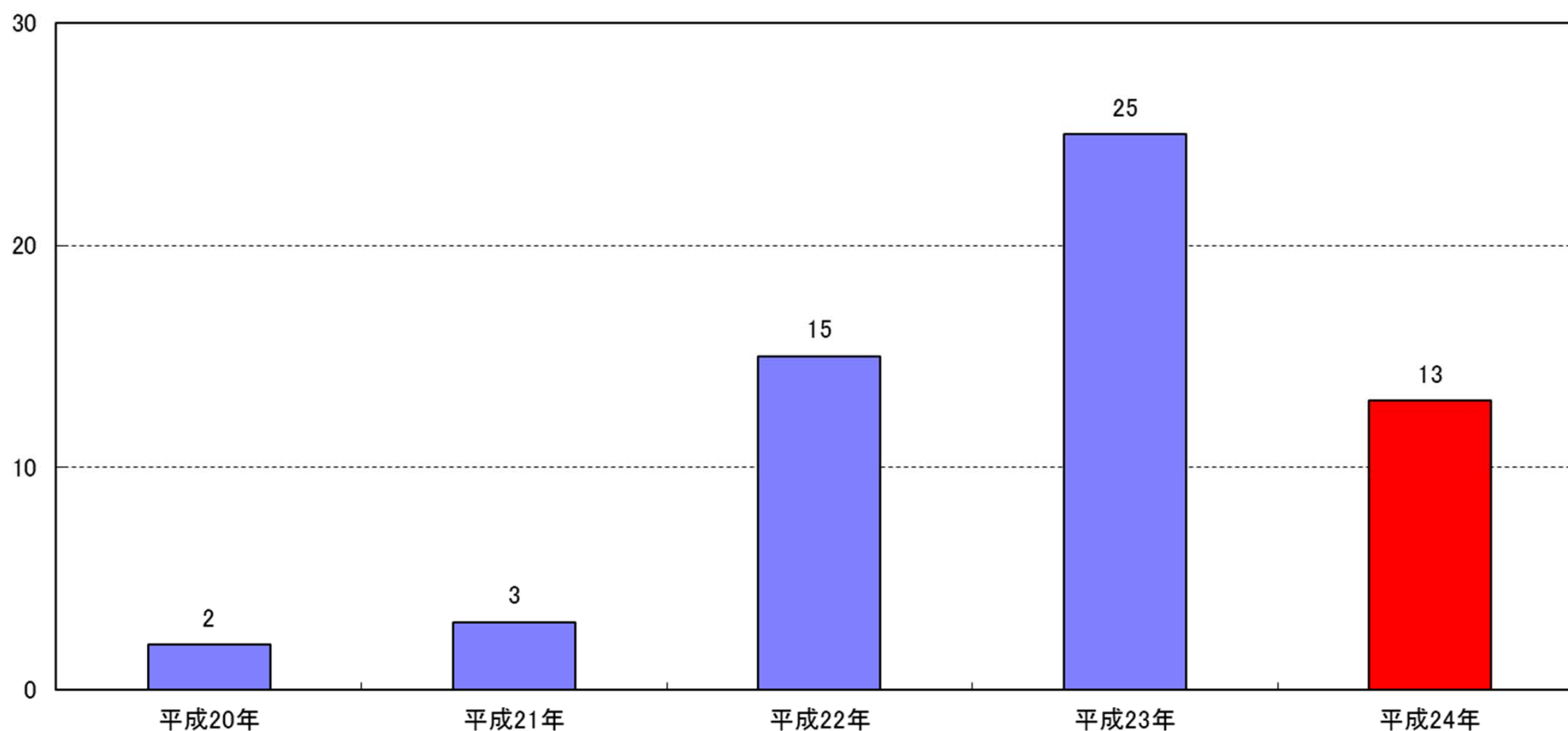
国 土 交 通 省 中 部 地 方 整 備 局
水 資 源 機 構 中 部 支 社

平成24年の防災操作の状況

-中部地整管内のフォローアップ対象ダム-

平成24年は、8ダムにおいて、13回の防災操作を実施しました。

近年の防災操作の実施回数



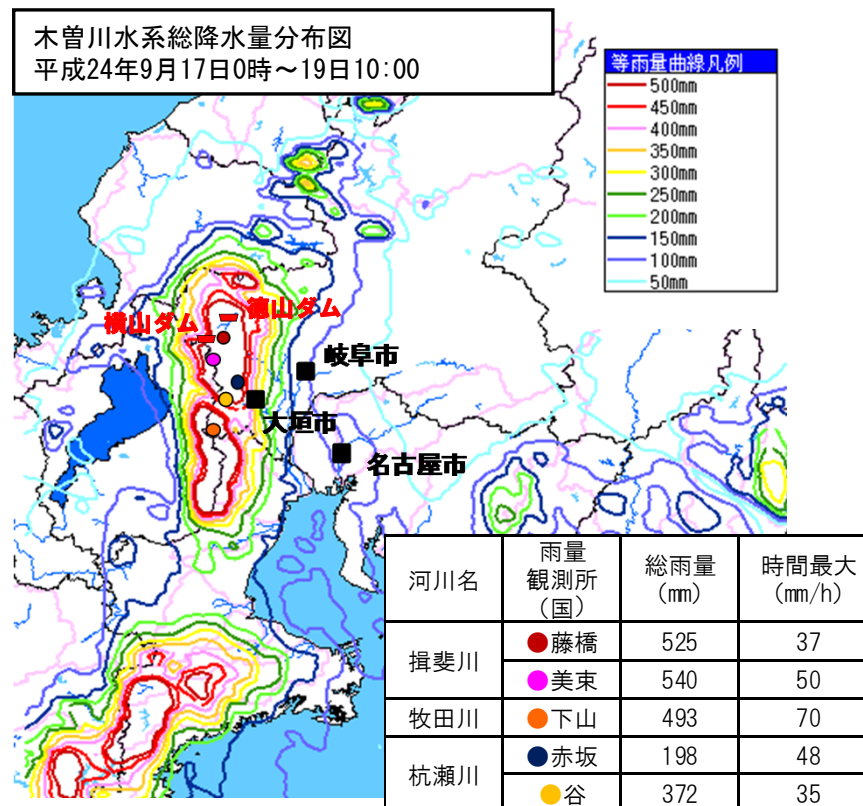
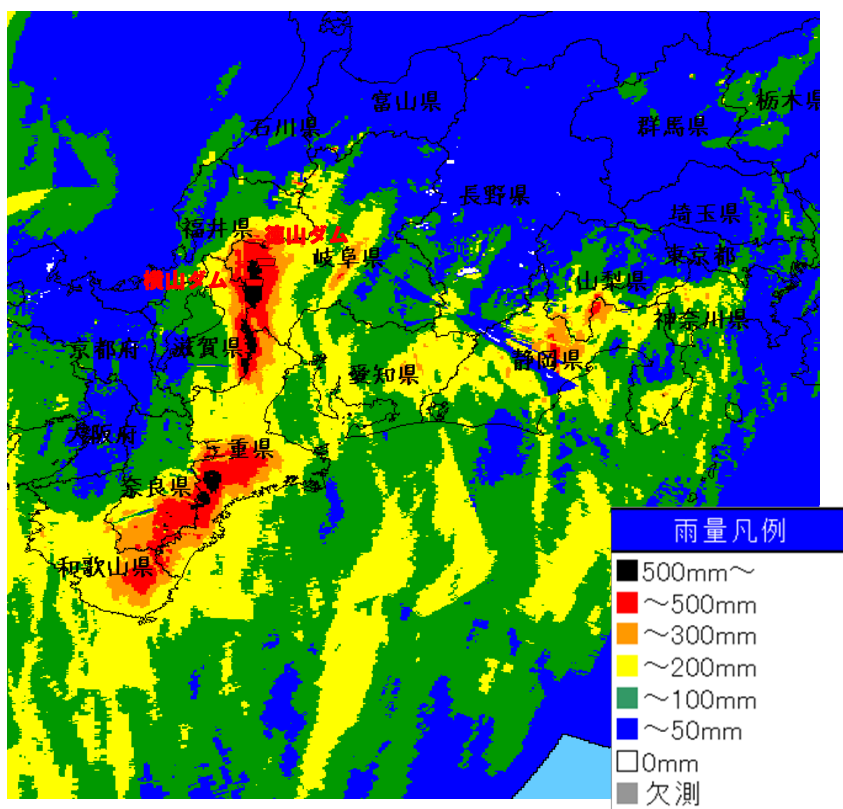
※平成24年に洪水調節を実施したダムは、新豊根・矢作・小里川・阿木川・岩屋・徳山・横山・蓮である。

平成24年の防災操作の状況

-徳山ダム・横山ダム-

台風第16号から変わった温帯低気圧に向かって南から湿った空気が流れ込んだため大気が不安定となり、岐阜西濃に非常に激しい降雨をもたらした。

9月17日の降り始めからの降水量(19日10時迄)は、美束観測所(揖斐郡揖斐川町)で540mm、下山観測所(大垣市上石津町)で493mmを記録した。



観測値は速報値 (9月17日0時～9月19日10時)

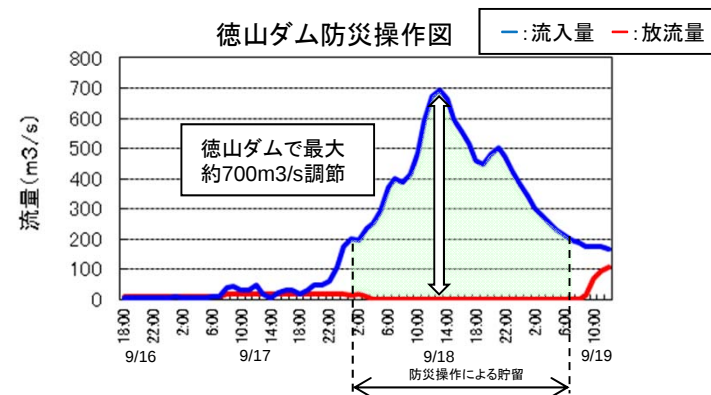
平成24年9月洪水における揖斐川本川の水位低下効果 ー徳山ダム・横山ダムの効果ー

平成24年9月洪水では徳山ダム・横山ダムによる防災操作の実施により、徳山ダム・横山ダムがない場合と比較して、揖斐川の万石地点（河口から約40.6k）で約1.2mの水位低下、今尾地点（河口から約27.0k）で約0.9mの水位低下をしたものと試算しました。
仮に、徳山ダムと横山ダムができていなかった場合は、今尾地点でははん濫危険水位を超過したと推定されます。

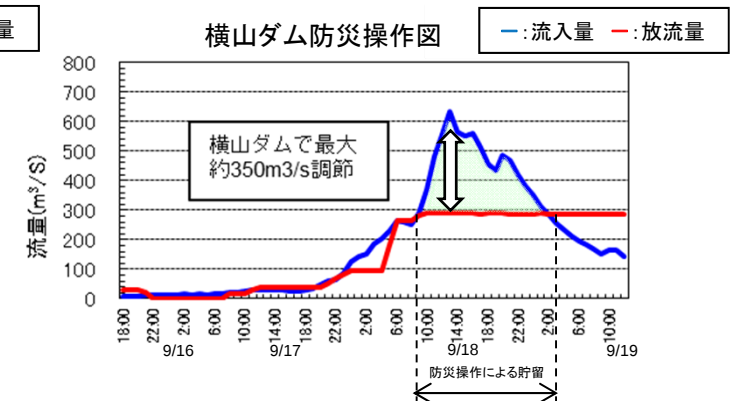
●位置図



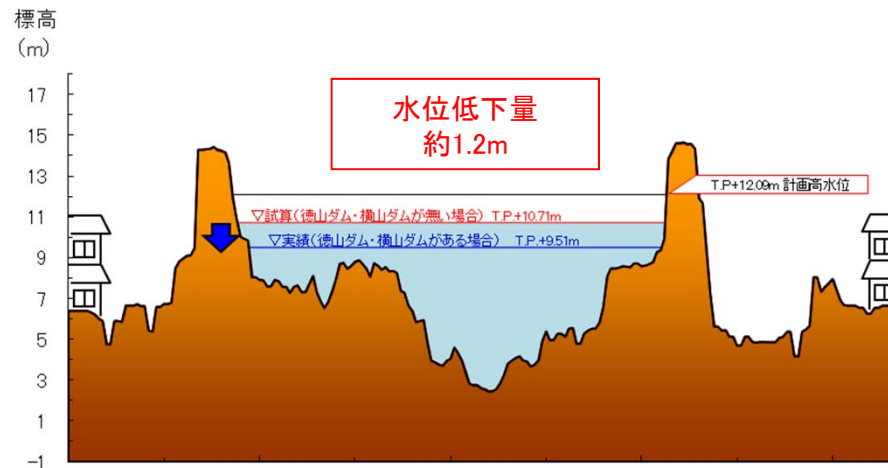
●ダムの防災操作(徳山ダム)



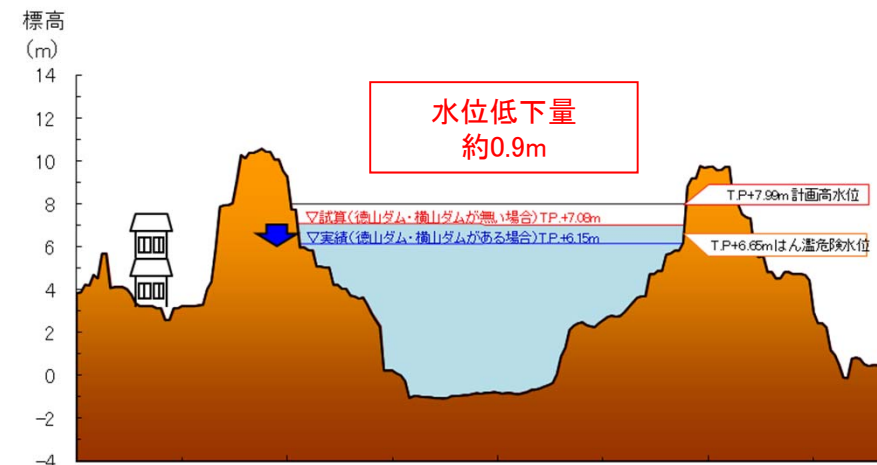
●ダムの防災操作(横山ダム)



●水位低下効果(万石)



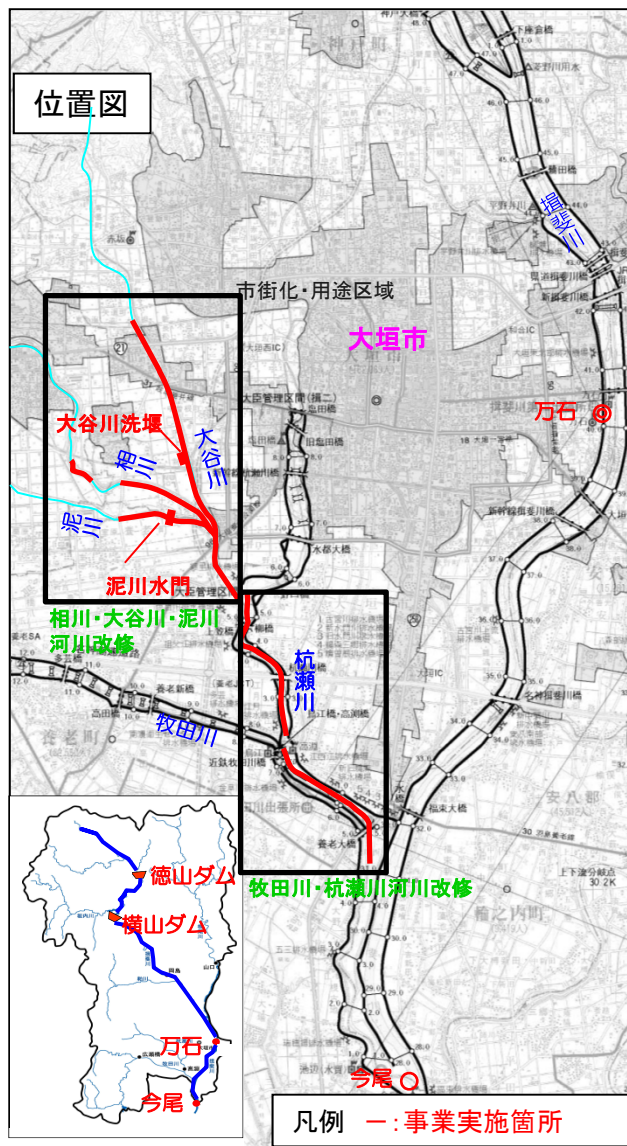
●水位低下効果(今尾)



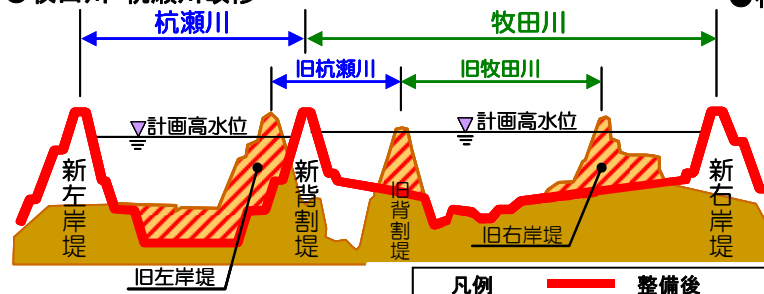
※はん濫危険水位とは、当該地点より下流の堤防整備状況を確認した上で、この水位を超えると相当の家屋浸水等の被害を生ずる恐れがある水位として設定したものです。

平成24年9月洪水における揖斐川支川大谷川・泥川の水位低下効果 ー徳山ダム・横山ダムの連携した防災操作、河川改修ー

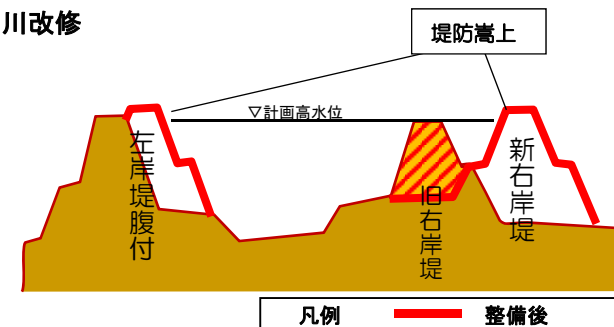
平成24年9月洪水では、徳山ダム・横山ダムの連携した防災操作の実施及び支川の河川改修により、支川大谷川の大谷川洗堰で約0.5mの水位低下、支川泥川の泥川水門下流で約0.5mの水位低下効果があり、さらに、泥川水門の整備と併せ泥川水門上流では約1.1mの水位低下効果があったものと試算しました。
仮に、ダムの防災操作の実施や河川改修、及び大谷川洗堰の嵩上げができていなかった場合は、大谷川洗堰からの越流による浸水被害が生じたと推定されます。



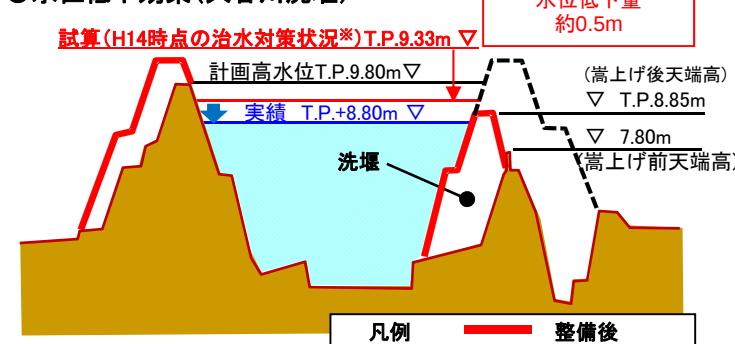
●牧田川・杭瀬川改修



●相川改修



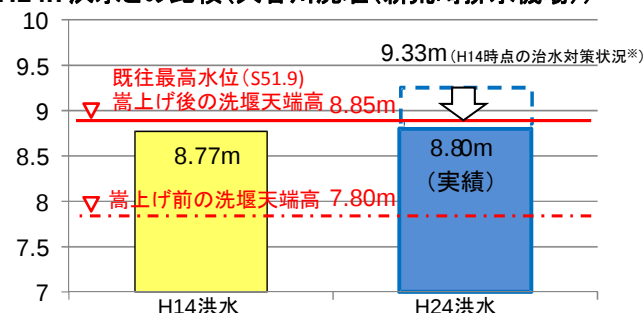
●水位低下効果(大谷川洗堰)



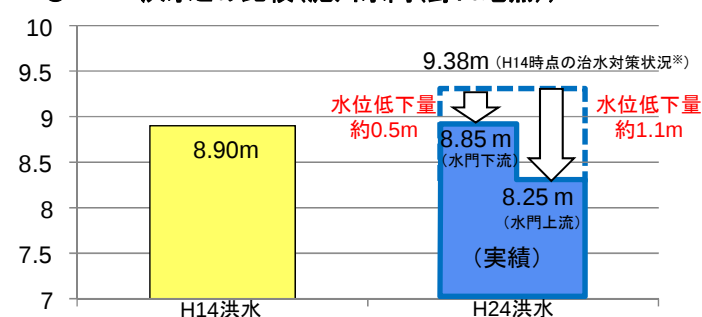
●泥川水門の整備(相川からの逆流を防止する。)



●H14.7洪水との比較(大谷川洗堰(新荒崎排水機場))



●H14.7洪水との比較(泥川水門(野口地点))

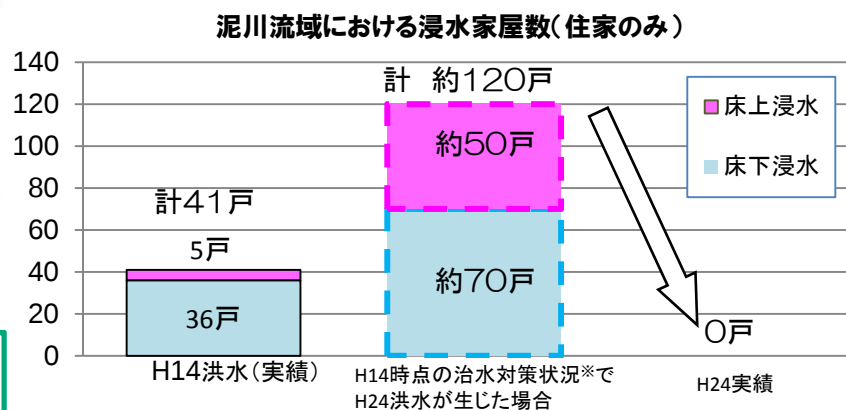
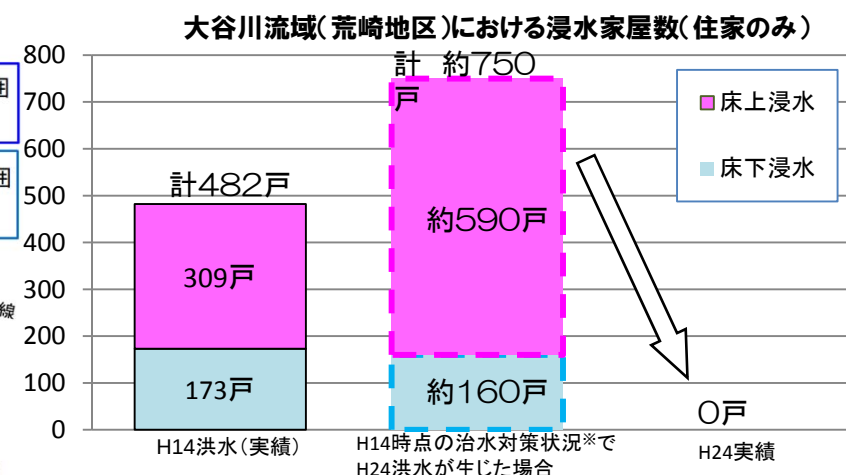
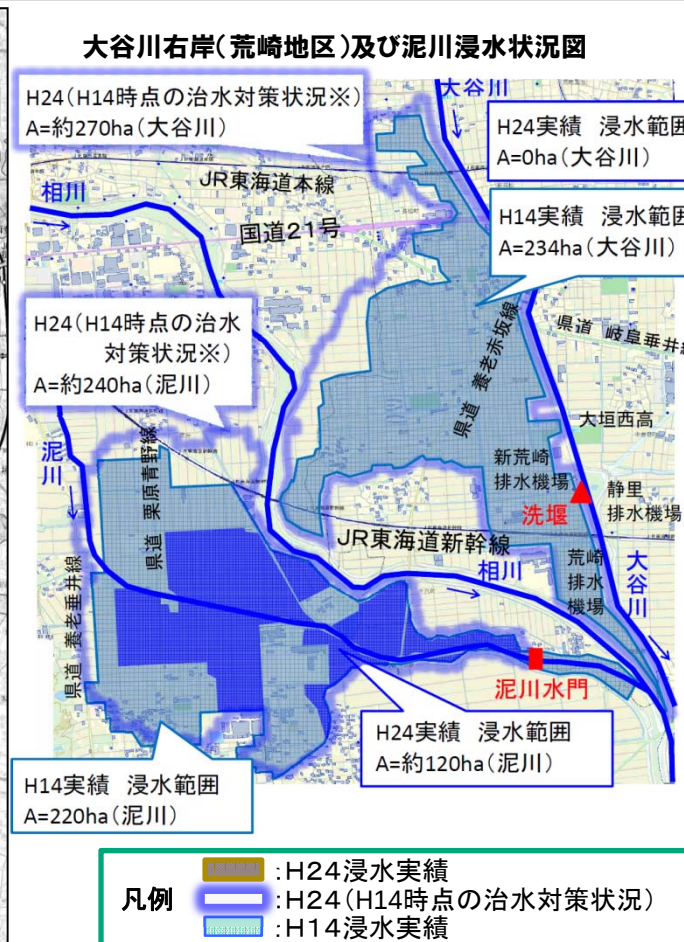
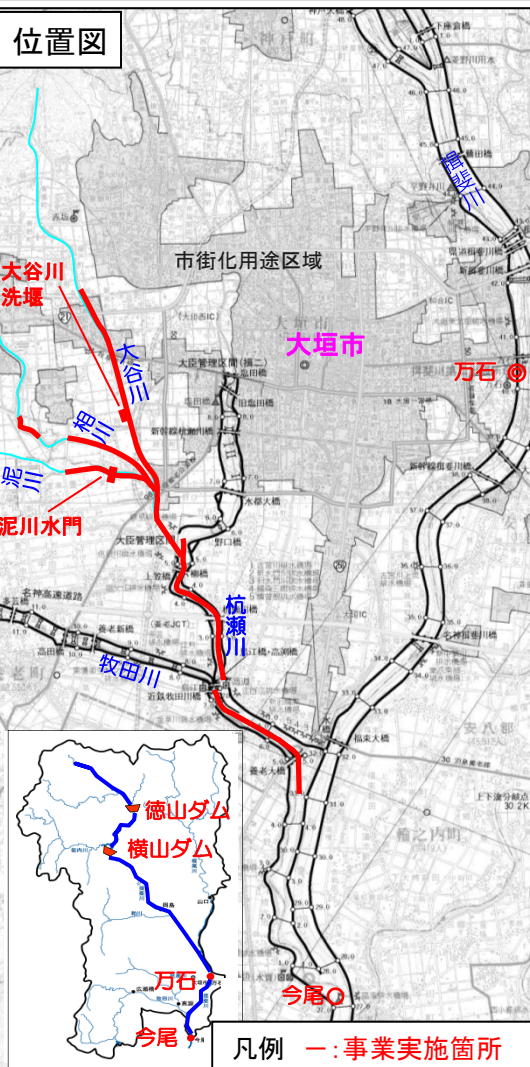


※H14時点の治水対策状況：揖斐川流域で大きな洪水被害のあった平成14年7月洪水以降の治水対策(徳山ダム建設に伴う徳山ダム・横山ダムの治水機能の向上、支川改修)を実施していない状況を想定したもの。

平成24年9月洪水における揖斐川支川大谷川・泥川の浸水被害軽減効果 — 徳山ダム・横山ダムの連携した防災操作、河川改修 —

平成24年9月洪水では、徳山ダム・横山ダムの連携した防災操作の実施や支川杭瀬川、牧田川、相川の河川改修、大谷川の洗堰嵩上げ、泥川水門の整備により、大谷川流域では浸水被害を回避でき、泥川流域では家屋浸水被害は生じませんでした。

仮に、これらの施設が整備できていなかった場合は、大谷川流域では浸水家屋が約750戸、泥川流域では約120戸という平成14年の出水を超える被害が生じたと推定されます。

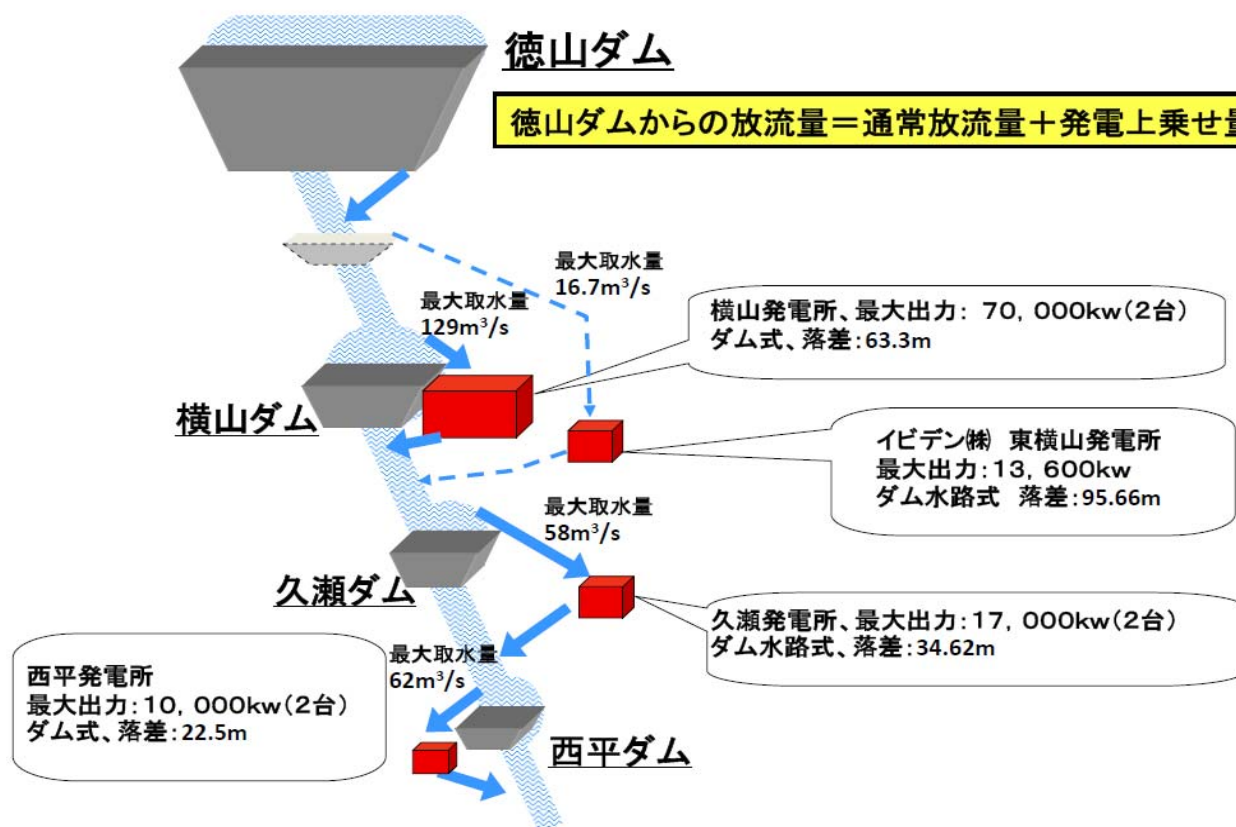


※浸水家屋数は、洗堰については新荒崎機場地点の水位が、泥川については野口地点の水位が、そのままの高さで氾濫域に浸水すると仮定して算出したものです。

※H14時点の治水対策状況: 揖斐川流域で大きな洪水被害のあった平成14年7月洪水以降の治水対策(徳山ダム建設に伴う 6 徳山ダム・横山ダムの治水機能の向上、支川改修)を実施していない状況を想定したもの。

ダムにおける電力需要ピークに対応した貯水池運用の実施結果 -徳山ダムからの放流による増電効果-

徳山ダムでは、今夏の中西日本の深刻な電力不足に対する中部電力(株)からの協力要請を受け、ダム管理及び徳山水力発電所工事に支障のない範囲で、電力需要ピークに対応した貯水池運用を行い、ダム下流の揖斐川にある4つの水力発電所の電力需要ピーク時の増電につながる放流を実施しました。この運用の結果、ピーク時には平均で一般家庭約3千3百世帯分に相当する電力の増加になりました。

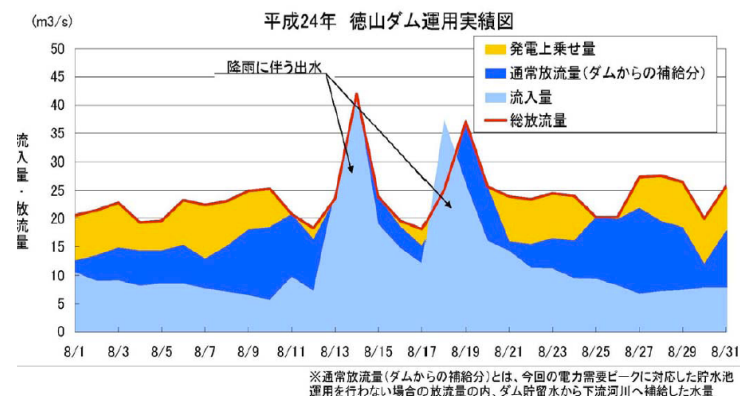


【実施期間】

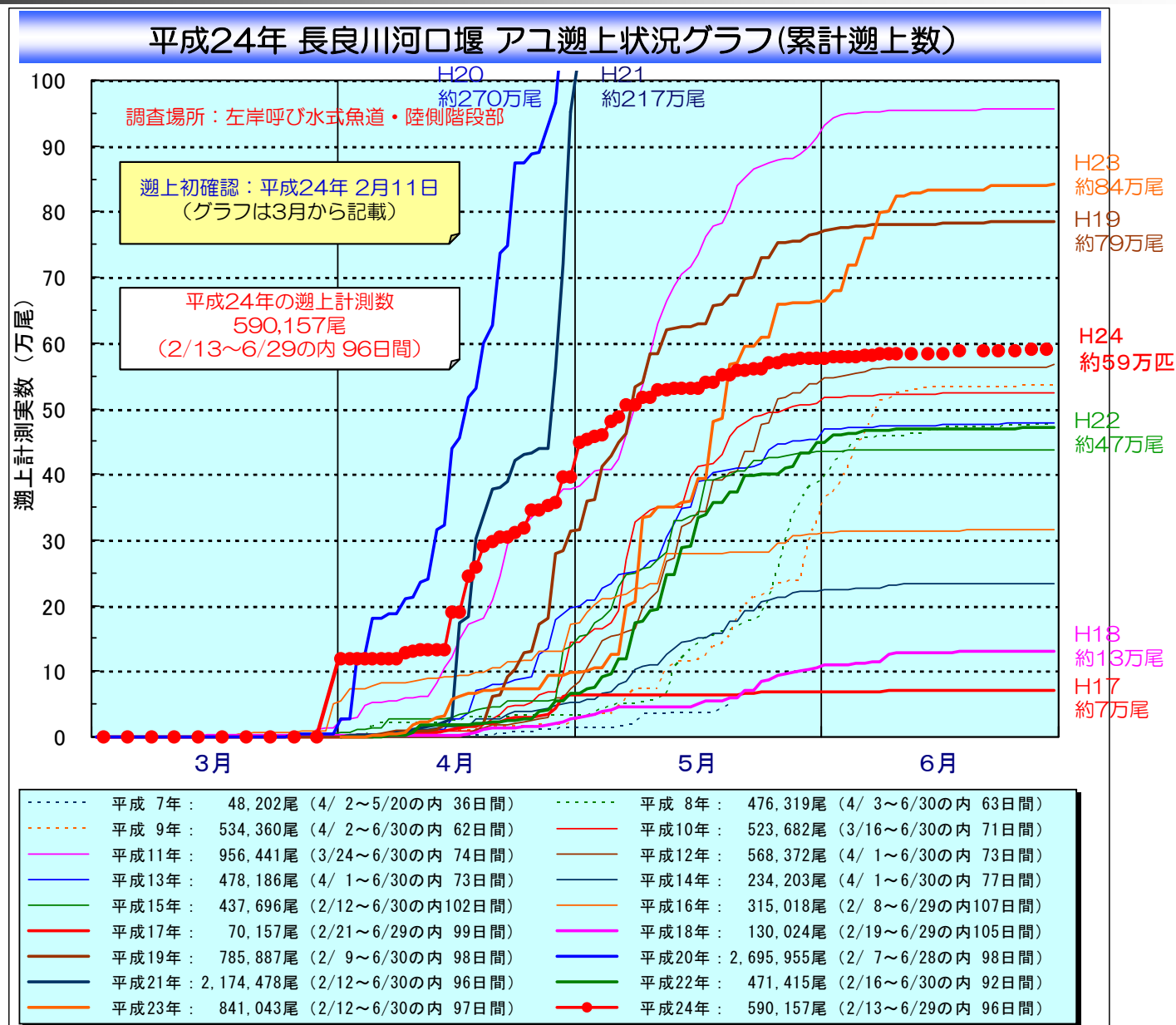
8月1日～31日までの間において延べ24日間で実施

【運用実績】

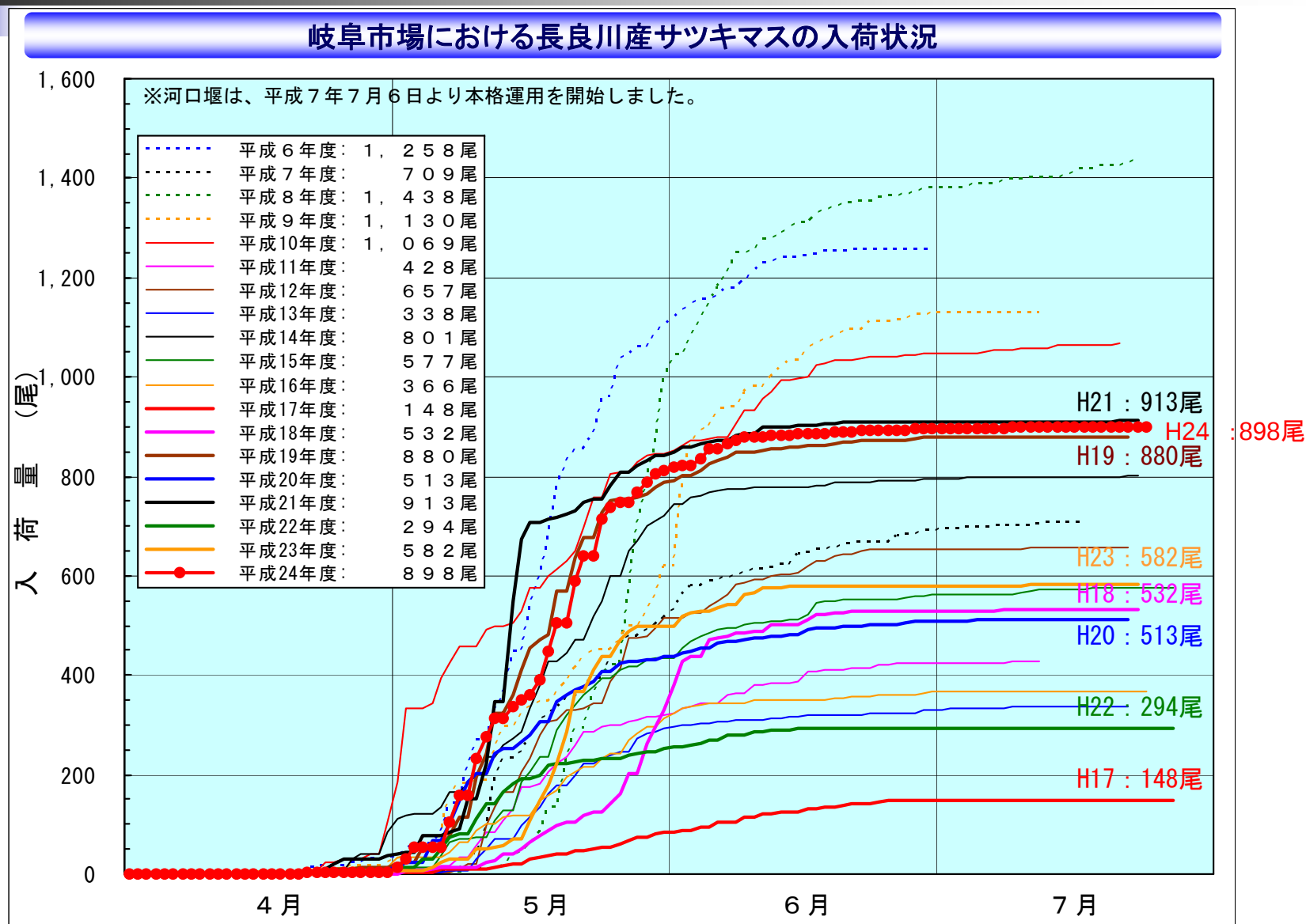
- ・ピーク時(10時～17時)平均の合計電力は10,032kW (1世帯あたり3kWとして算出)
- ・ピーク時平均の増電量は、一般家庭3千3百世帯分に相当



長良川河口堰地点のアユ遡上状況



サツキマスの岐阜市場入荷状況（長良川産）



※この結果は、岐阜市場に入荷したサツキマスの数を調べたものです。釣り人の釣果や直接取引など、市場に入らない漁獲は含まれていません。